

サークルを次々と新設し、参加を促進

大阪府交野市 倉治老人クラブさんゆう会 **会員数** 462名

● 解散の危機を乗り越えて

当クラブは、昭和35年に「倉治老人クラブ」として誕生しました。会員数128名からスタートし、昭和58年には287名まで増加しましたが、以降は減少の一途を辿ることとなりました。平成20年には会員数が112名まで減少し、解散の危機に直面しましたが、当クラブはここを「復活・躍進宣言の年」と決意。地区役員全員がキーパーソンとなることを誓い合い、強力な会員増強運動を開始しました。以下に、その取り組みの一部を紹介します。

- ①情報誌「さんゆう会ニュース」を発刊し、行事案内や活動状況、トピックス、会員動向などを発信。
- ②“老人”というイメージ新のため愛称を募集し、「さんゆう会」に決定。さんゆう会とは、ゆとりの「悠」、よき友の集いの「友」、遊び上手は長寿・健康の元の「遊」の3つの「ゆう」を意味する。
- ③活動拠点「いこいの郷」が誕生。

● 活動拠点「いこいの郷」をフル活用

このように当クラブでは平成20年より10年以上にわたって会員増強に向けて取り組んでおり、平成26年からの「100万人会員増強運動」では特に以下の活動に注力しました。

まずは、会員の要望を取り入れたサークル活動や同好会をつぎつぎに新設しました。現在は健康



社会奉仕の日

マージャン教室や歌声喫茶、俳句教室など16のサークル・同好会があります。

平成24年に誕生した活動拠点「いこいの郷」をフル活用するとともに、トイレの改装とバリアフリー化を実施しました。「いこいの郷」オープン時の利用者は1,900人でしたが、平成30年には7,857人の方が利用するまでになりました。

また、健康寿命を伸ばすことを目指し、元気アップ体操教室など、健康づくりへの取り組みも充実させています。さらに、「さんゆう会ニュース」による情報発信、他地区の単位クラブとの交流会、地域貢献活動への参加も積極的に行いました。

● 設立以来の最多会員数を達成

こうした取り組みの結果、「100万人会員増強運動」スタート前は232名だった会員数は、平成30年には約2倍の462名となり、設立以来の最多会員数を達成することができました。

活動拠点「いこいの郷」を有効に活用し、多彩なサークル活動を展開することでクラブの魅力が向上したこと、また地域貢献活動に積極的に参加することで地域でのクラブの存在価値が高まったことなどが会員増強に結びついたと考えています。これからも「温故創生」「常にチャレンジ」「継続は力なり」を会員の合言葉に、さらに魅力あるクラブづくりに取り組んでいきたいと思ひます。



小学校児童の見守り活動

ここが
ポイント
!

●活動拠点「いこいの郷」を活用し、多彩なサークル活動を展開

●地域貢献活動に積極的に参加し、地域でのクラブの存在価値を高めた